



2018年2月16日

ブラジルをイメージした駅舎・公衆トイレが完成！

**2月17日（土）、小泉線 西小泉駅前の大泉町公衆トイレを使用開始し、  
駅舎を含めた西小泉駅全体のリニューアル工事が完成！**

～駅舎と公衆トイレの間に「インフォメーションスペース」を設置！～

大 泉 町  
東武鉄道株式会社

大泉町（群馬県邑楽郡）では、2017年11月より西小泉駅前公衆トイレの改築工事を進めていましたが、2018年2月17日（土）に使用を開始します。

これにより、東武鉄道（本社：東京都墨田区）が新設し、2017年9月16日（土）から使用を開始していた新駅舎とあわせて、西小泉駅全体のリニューアル工事が完成します。

大泉町では、人口の約1割をブラジル人が占め、ブラジル料理店や雑貨店が多数あるブラジルの雰囲気を感じられる町が形成されており、町全体でブラジル、ペルーをはじめとする南米文化による活性化策を推進しています。

そのため、大泉町の玄関口として相応しい駅舎・公衆トイレとなるよう、ブラジルの国旗に使用されている黄色や緑色を採り入れたデザインの駅舎・公衆トイレを一体的に整備し、また、ブラジルを代表する鳥「トゥカーノ」をイメージした駅シンボルサインを駅舎・公衆トイレの出入口付近に設置し、賑わいを創出してお客さまをお迎えいたします。

なお、駅舎においては、駅名看板等に日本語・英語・中国語・韓国語に加え、ブラジルの公用語であるポルトガル語、ペルーの公用語であるスペイン語を表記し、より多くのお客さまにわかりやすくご利用いただける環境づくりを行っています。

また、駅舎と公衆トイレとの間の軒下空間を活用し、「インフォメーションスペース」を大泉町と東武鉄道の共同で整備し、観光で訪れたお客さまに様々な情報を提供します。

今後も、大泉町・東武鉄道では連携しながら、利便性・快適性向上を図ってまいります。



△西小泉駅駅舎（左側）および大泉町公衆トイレ（右側）



△インフォメーションスペース

### 西小泉駅前公衆トイレの概要について

- (1) 使用開始日時 2018年2月17日(土) 午前10時から
- (2) 所在地 群馬県邑楽郡大泉町西小泉四丁目2625番1
- (3) 建築面積 62.98㎡
- (4) 構造規模他 木造平屋建て(男女トイレおよび多機能トイレ)
- (5) 設計会社 東日本総合計画株式会社
- (6) 施工会社 河本工業株式会社

### 西小泉駅 新駅舎の概要について

- (1) 使用開始日時 2017年9月16日(土) 始発列車から
- (2) 所在地 群馬県邑楽郡大泉町西小泉4-31-10
- (3) 建築面積 105.56㎡
- (4) 構造規模他 木造平屋建て(駅事務室他)
- (5) 設計会社 株式会社オー・エヌ・オー大野設計
- (6) 施工会社 河本工業株式会社
- (7) 駅開業日 1941(昭和16)年12月1日



△ 西小泉駅シンボルサイン

以上

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102